

■ 設計および施工におけるポイント

適用条件

1階と2階、2階と3階の取り合い部の横目地は、化粧目地仕上げが基本仕様となります。適用条件により、横目地消し仕様も可能です。

①1階と2階、2階と3階の取り合い部：化粧目地仕様（基本仕様）

地域	沖縄を除く全国
構造	木造軸組構造、木造枠組壁構造、木質パネル・鉄骨造（※1）
階高	3階建て以下
用途	戸建て住宅、店舗、集合住宅

（※1）鉄骨造：C形鋼75×45×厚み1.6mm以上（縦組み、横組み@606mm以下）の上に木胴縁33mm厚の直交組みとなります。



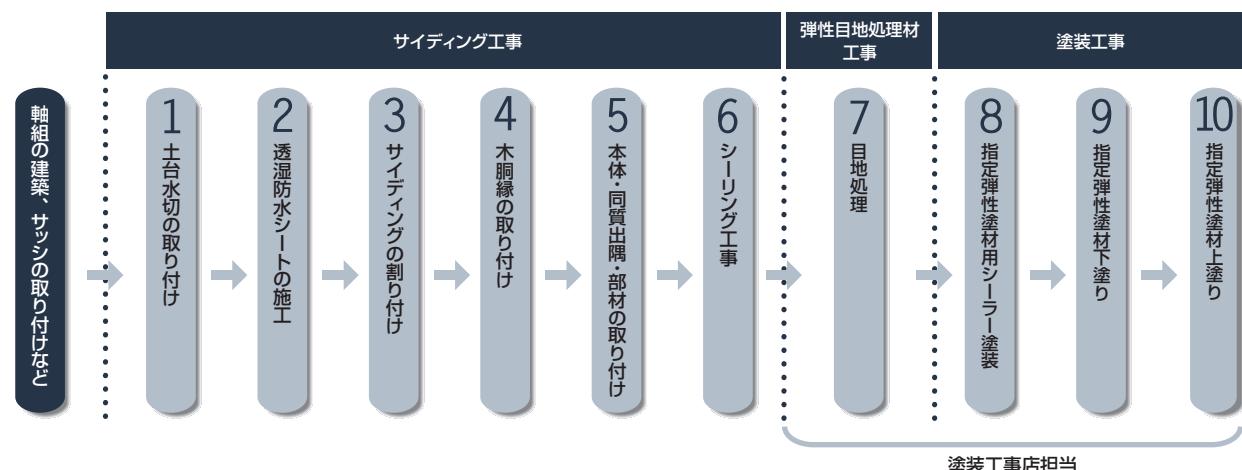
化粧目地の施工例

化粧目地とは、シーリング目地部分を、弾性塗材下塗り、乾燥後に養生テープでマスキングし、弾性塗材上塗り直後にマスキングをはがして形成させる塗材の凹み目地です。

②1階と2階の取り合い部：横目地消し仕様

地域	沖縄を除く全国
構造	木造軸組構造 ※ その他の構造には適用できません
階高	2階建て以下 ※ 3階建てには適用できません
用途	戸建て住宅、店舗、集合住宅
その他	縦胴縁組み限定 縦方向の釘打ち@ 150mm以下

工事の流れ



注意点

モエン大壁工法は、完全な目地なし仕上げとはなりません。また下地組みから塗装まで、細心の注意と熟練した技術が必要となりますので、弊社登録外壁工事店、アイカ工業（株）の登録塗装工事店による施工が必要となります。本工法の注意点を十分ご理解、ご了承いただいたうえで、ご採用ください。

■ 1・2階上下接合部（サイディング1・2段目）※1、開口部廻り、入隅部などはシーリング目地を取った上で化粧目地仕上げとしていただくことが必要です。※1 横目地消し仕様を除きます。

理由 軀体の動きに伴う目地部の変形を吸収させます。

理由 塗膜切れが発生しやすいサッシコーナーと縁を切れます。

シーリングの歪みを目立ちにくくさせます。・シーリング目地+幕板施工は問題ありません。

■ 目地の目立ちにくい塗装を施す必要があり、指定弾性塗材、指定仕上パターンに限定されます。

■ 指定仕上パターンでの塗装においても、陽の当り方によって、目地処理範囲の不陸が影となって浮き出ることがあります。

■ モエンパネルはタイル、レンガ、擬石などの下地としてはご使用になれません。

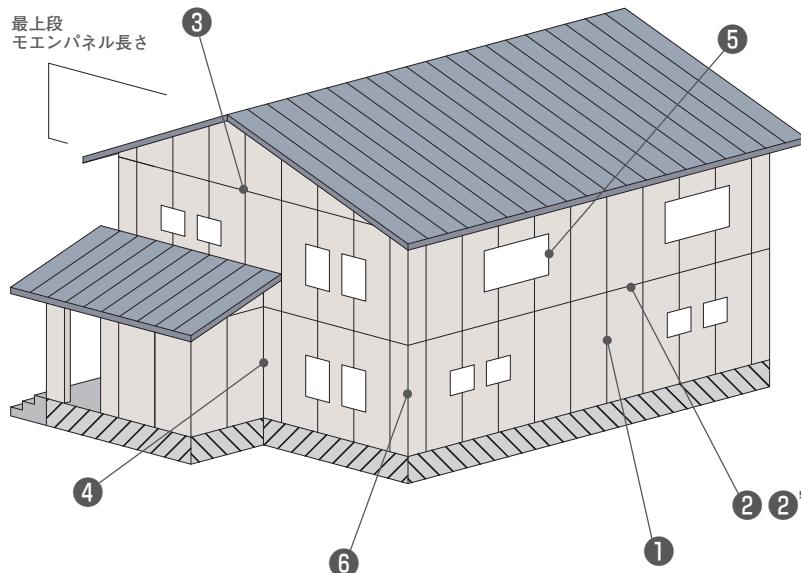
■ その他特殊工法については最寄りの弊社営業所またはお客様相談室にお問い合わせください。

1階と2階の取り合い部：横目地消し仕様の保証に関する補足事項

- 1階と2階の取り合い部の横目地は、目地消し仕上げとなります。建物自体の変形や変位などの影響を受けやすいため保証対象外部位となります。
- 縦目地および切り妻部などの「最上段モエンパネル長さ 1820mm以下の上下接合部」については、保証対象となります。

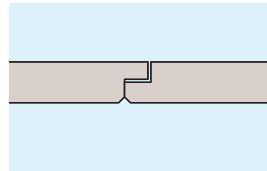
設計および施工におけるポイント

各接合部の納まり



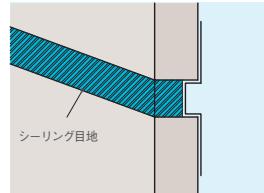
①左右接合部

目地隙きのない
合いじゃくり施工となります。



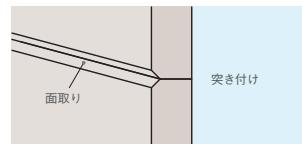
②モエンパネル上下接合部

<化粧目地仕様(基本仕様)>
シーリング目地を設けます。



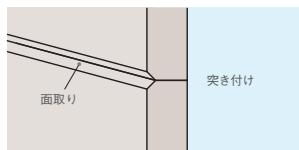
②'モエンパネル上下接合部

<横目地消し仕様>
接合部にあたるモエンパネル端部に $2\times 2\text{ mm}$ 程度の面取りを施し、突き付け施工します。



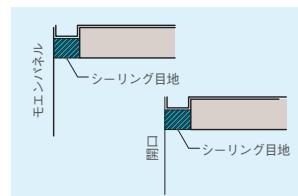
③最上段のモエンパネル上下接合部 (最上段モエンパネル長さ1820mm以下)

接合部にあたるモエンパネル端部に $2\times 2\text{ mm}$ 程度の面取りを施し、突き付け施工します。



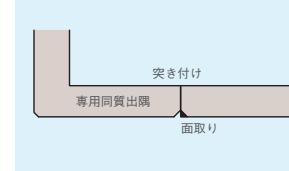
④入隅部 ⑤開口部

シーリング目地を設けます。



⑥出隅部(専用同質出隅仕様)

モエンパネル端部に $2\times 2\text{ mm}$ 程度の面取りを施し、専用同質出隅に突き付け施工します。

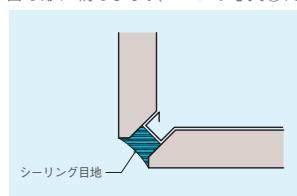


※本部位は目地なし仕上げになります。

※PREMOシリーズには使用できません。
※仕上りがよい専用同質出隅仕様をお薦めします。

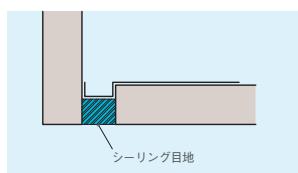
⑥出隅部(留め形納め仕様)

専用片ハットジョイナーを使用し、
シーリング目地を設けます。
モエンパネル裏面を $10\times 10\text{ mm}$ カットし、
留め形に納めます。(P.26の写真⑤、⑥)



⑥出隅部(追回し仕様)

シーリング目地を設け、
モエンパネルを追回し施工します。



※PREMOシリーズには使用できません。
※専用同質出隅と比べると角がでにくい仕様です。
※シーリングのやせに伴い目地が目立ちやすくなります。

*同質出隅柱、弾性目地処理材、シーリング材、ハットジョイナー類、釘、切削部補修材(モエンシーラー)は、必ず純正品をお使いください。

出隅部留め形仕様の納まり詳細

出隅部留め形納めの手順

1. 脊縁施工、専用片ハットジョイナー取り付け(写真①)

脊縁を追回しにて施工してください。

きれいに角が出るよう、勝ち側脇縁の倒れに注意してください。
勝ち側脇縁側の角に合わせて、留め形納め専用片ハットジョイナー(FHT1007)を取り付けてください。

2. モエンパネルの切断(写真②)

出隅部に施工するモエンパネルは、専用片ハットジョイナーの首下+10mmの長さにて切断してください。

※下地の倒れを加味して切斷いただく必要がございますので、上下端で採寸してください。

3. モエンパネル端部の45°カット(写真③)

切断したモエンパネルの出隅側端部を、45°で10×10mmの裏面カットを施してください。

柄頂部までカットしないでください。

※45°傾斜が可能な丸ノコが必要です。

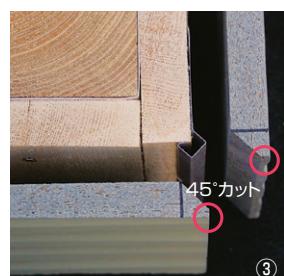
4. モエンパネルの施工(写真④)

出隅部に施工するモエンパネルは、出隅側の端あき距離を30~45mm

取って釘打ち施工してください。

5. シーリングの施工(写真⑤,⑥)

シーリングは、モエンパネル表面まで施工してください。



モエンパネル 施工のポイント

■ 木胴縁の取り付け

(1) 木胴縁の方向

- 鉄骨造の場合、C形鋼と木胴縁を直交させます。

(2) 木胴縁の標準寸法と間隔

- 木造の場合、木胴縁の厚さは、18mm以上とします。縦胴縁または、耐力面材がある場合の横胴縁では、必要な引き抜き耐力が確保できる材質(ベイツガなど)の場合は15mm以上とすることができます。
- 鉄骨造の場合、木胴縁の厚さは33mm以上とします。
- 木胴縁の幅は、一般部45mm以上、モエンパネル上下接合部・左右接合部・開口部周囲・出入隅部90mm以上とします。
- 木胴縁の間隔は、500mm以下とします。

(3) 木胴縁の留め付け方法

- 木造の場合、N65、CN65以上の釘またはφ3.8mm×50mm以上の木ビスを使用して500mm以下の間隔で柱・間柱に留め付けてください。
- 鉄骨造の場合、φ5mm×60mm以上のリーマ付きドリルビスを606mm以下の間隔でC形鋼に留め付けてください。
- 開口部周囲の木胴縁は、30mm以上の隙間を設け、通気を確保してください。

■ モエンパネルの施工

(1) 割り付け

- 割り付けは、芯振り分けとし、開口部左右に小幅物ができるないようにしてください。

(2) 釘留め

- モエン用釘を用い、モエンパネル端部(合じやくり部を除いた厚い部分)より20~35mm離して留め付けます。

(3) モエンの切り欠き加工

- モエンの切り欠きは原則として板幅(910mm・1000mm)の1/2以下としてください。
 コの字形状の場合は残り板幅が1/2未満の時やモエンパネルの板幅が100mm以下になる場合は、切断し、切断面の小口に2×2mm幅の面取り加工を施し、突き付けで留め付けてください。なお、面取り加工部はモエンシーラーを塗布してください。

■ 専用同質出隅の施工

- モエン用釘の長さ方向の釘打ち間隔は500mm以下、端部より20~35mm離して留め付けます。

1階と2階、2階と3階の取り合い部【化粧目地仕様(基本仕様)】の場合

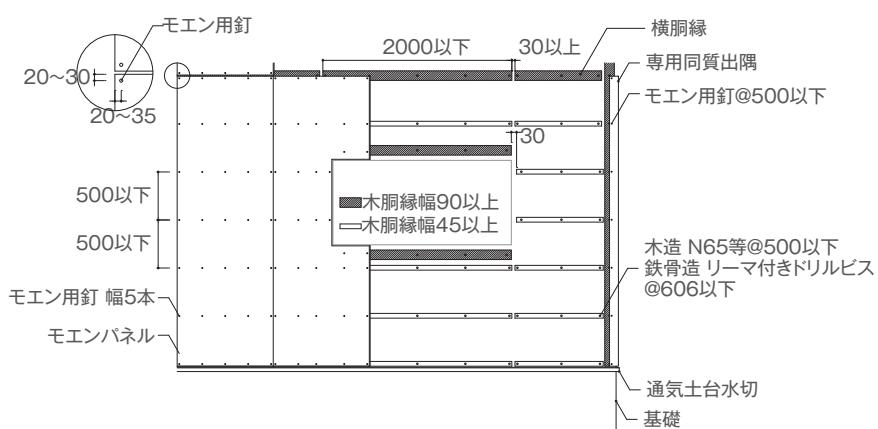
木胴縁下地組み[横胴縁仕様]とモエンパネルの留め付けについて

■ 木胴縁の取り付け

- 木胴縁は、2m以下の間隔に隙間(30mm以上)を設け、通気を確保します。

■ モエンパネルの施工

- モエン用釘を用い、パネル幅に対して5本、胴縁毎に留め付けてください。



1階と2階、2階と3階の取り合い部【化粧目地仕様(基本仕様)】の場合

木胴縁下地組み【縦胴縁仕様】とモエンパネルの留め付けについて

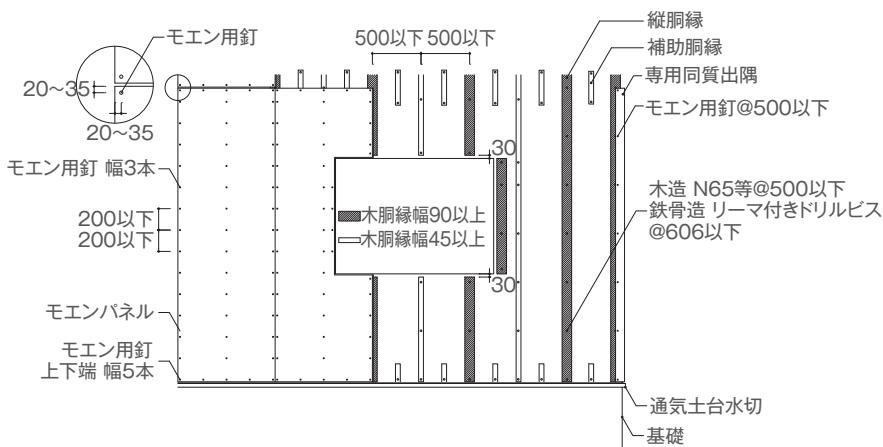
■ 木胴縁の取り付け

- モエンパネルの上下端に補助胴縁を取り付けます。

■ モエンパネルの施工

- モエン用釘を用い、パネル幅に対して3本で留め付けます。ただし、上下端は5本で留め付けます。

- 長さ方向の釘打ち間隔は200mm以下とします。



1階と2階の取り合い部が【横目地消し仕様(木造軸組2階建て以下限定の仕様)】の場合

木胴縁下地組み【縦胴縁仕様】とモエンパネルの留め付けについて

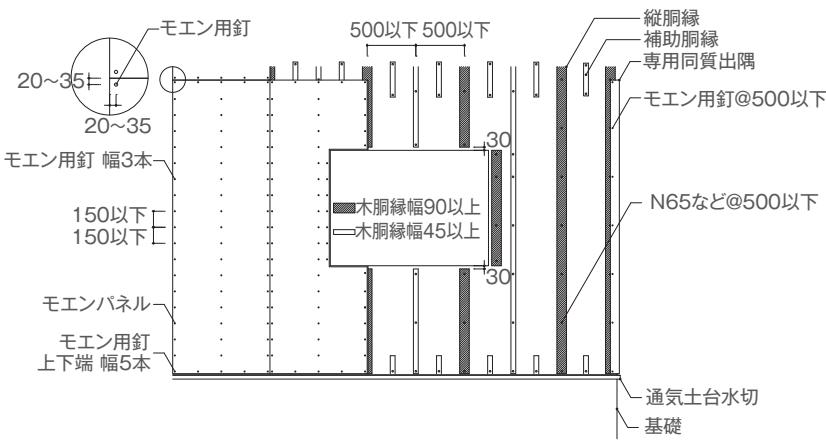
■ 木胴縁の取り付け

- モエンパネルの上下端の位置に補助胴縁を取り付けます。

■ モエンパネルの施工

- モエン用釘を用い、パネル幅に対して3本で留め付けます。ただし、上下端は5本で留め付けます。

- 長さ方向の釘打ち間隔は150mm以下とします。

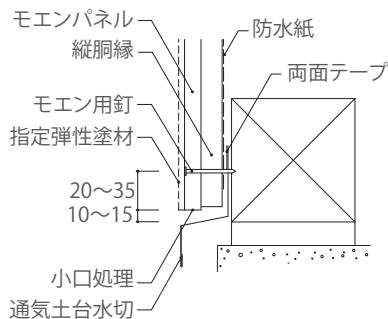




モエンパネル 施工のポイント

土台部

- 通気土台水切はモエン用釘を用い、土台に500mm以下の間隔で留め付けます。
- 防水紙は、通気土台水切にかぶせます。
- 通気土台水切の両面テープに、防水紙の端部を貼り付けます。
- モエン下端と土台水切の間は10~15mmの隙間を設けます。
- モエンパネルは、モエン用釘で留め付けます。

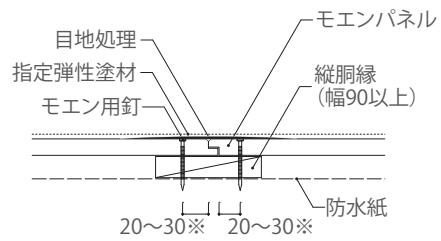


(縦縫合組みの例)

①左右接合部

- 実を隙間なく納め、モエンパネルの釘打ち線を目安に、モエン用釘で留め付けます。
- モエン用釘の縁端距離は、合じやくり部を除いて20~30mmとします。

※縦縫合下地組みの場合は、縫合の端あきが10mm以上となるように釘打ちします。

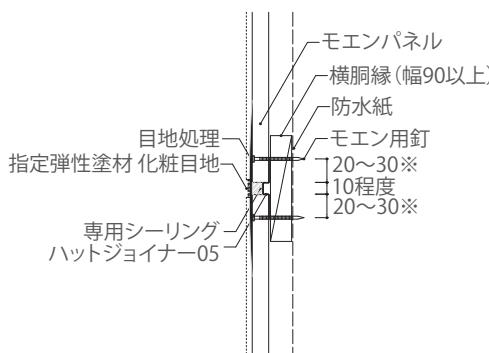


(縦縫合組みの例)

②モエンパネル上下接合部【化粧目地仕様(基本仕様)】

- モエンパネルの上下接合部に、ハットジョイナー05を用いて、シーリング目地を設けます。
- モエンパネルは、モエン用釘で留め付けます。

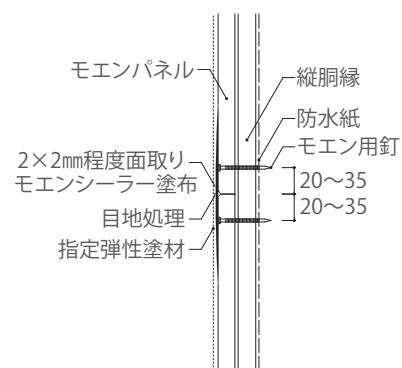
※縦縫合下地組みの場合は、縫合の端あきが10mm以上となるように釘打ちします。



(横縫合組みの例)

②モエンパネル上下接合部【横目地消し仕様】

- モエンパネルの上下接合部は、縫合上、妻梁上に設け、2×2mm程度面取りした上で、突き付け施工します。
- 面取り部は、モエンシーラーを塗布します。
- モエンパネルは、モエン用釘で留め付けます。

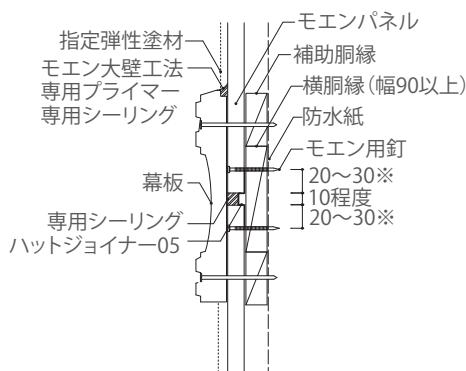


(縦縫合組み)

②モエンパネル上下接合部(幕板を施工する場合)

- 横胴縁組みの場合は、モエンパネル工事前に、通気を妨げないように補助胴縁を取り付けます。
- モエンパネル上下接合部に、ハットジョイナー05を用いてシーリング目地を設けます。
- 幕板は必ず胴縁、補助胴縁に留め付けます。
- 幕板の上端は、マスキングテープで養生後、専用プライマーを塗布し、専用シーリングを充填します。

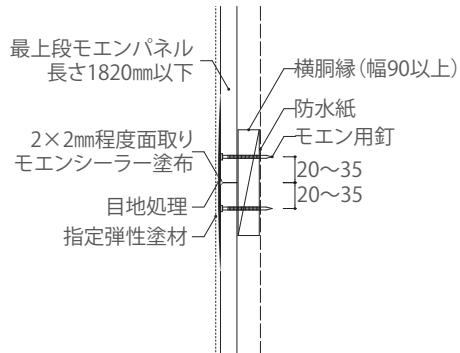
※胴縁の端あきが10mm以上となるように釘打ちします。



(横胴縁仕様の例)

③最上段のモエンパネル上下接合部

- 最上段モエンパネルの長さが1820mm以下の場合、上下接合部を突き付けることができます。
- 最上段モエンパネルの長さが1820mmを超える場合、②モエンパネル上下接合部[化粧目地仕様(基本仕様)]と同様の納めとします。

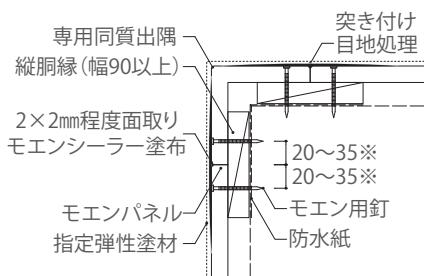


(横胴縁仕様の例)

④出隅部(専用同質出隅仕様)※PREMOシリーズには使用出来ません

- モエンパネル端部に2×2mm程度の面取りを施し、モエンシーラーを塗布します。
- モエンパネルは、専用同質出隅に突き付けて施工します。
- モエンパネルおよび専用同質出隅は、モエン用釘にて留め付けます。

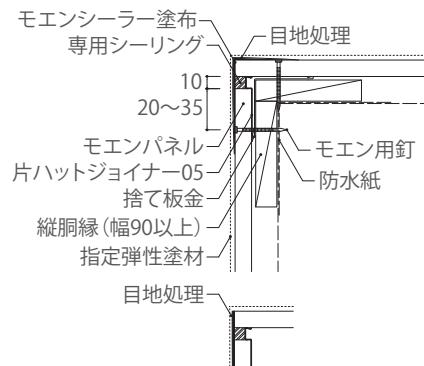
※胴縁の端あきが10mm以上となるように釘打ちします。



(縦胴縁組みの例)

④出隅部(追い回し仕様)※PREMOシリーズには使用出来ません

- モエンパネルは、実を切断します。
- モエンパネルの切断小口は、モエンシーラーを塗布します。
- モエンパネルは、モエン用釘で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、専用シーリングを充填します。



※専用同質出隅と比べると、角がでにくい仕様です。

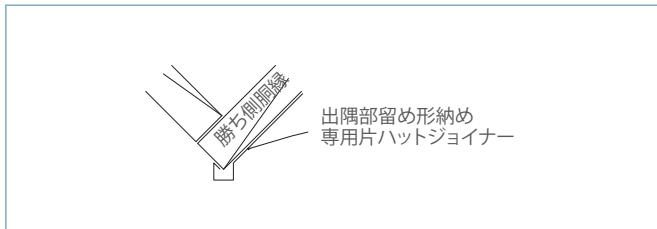
※シーリングのやせに伴い、目地処理部が目立ちやすくなります。(縦胴縁組みの例)

モエンパネル 施工のポイント

④出隅部(留め形納め仕様)

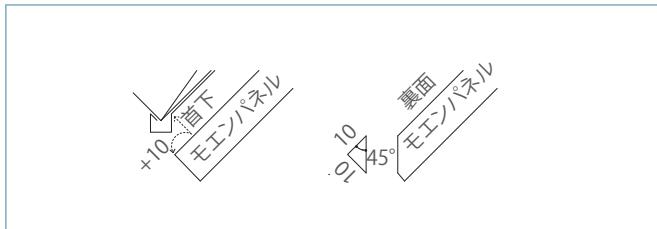
(1)木胴縁下地組み、専用ハットジョイナーの取り付け

- 木胴縁を追い廻しにて施工してください。
- きれいに角が出るよう、勝ち側胴縁の倒れに注意します。
- 勝ち側胴縁の角に合わせて、留め形納め専用片ハットジョイナーを取り付けます。



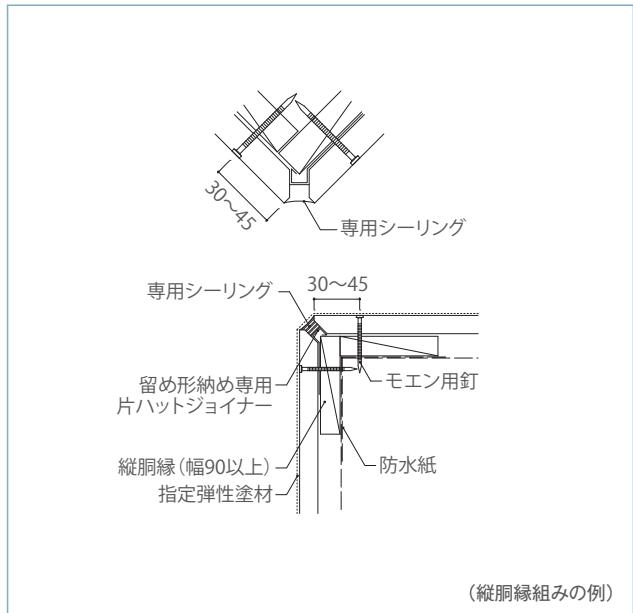
(2)モエンパネルの切断

- 出隅部に施工するモエンパネルは、専用片ハットジョイナーの首下+10mmの長さにて切断します。※下地の倒れを加味して切断する必要がありますので、上下端で採寸します。
- 切断したモエンパネルの出隅側端部は、45°で10×10mmの裏面カットを施します。



(3)モエンパネルの施工、シーリング施工

- 出隅部に施工するモエンパネルは、出隅側の端あきを30~45mmとり、モエン用釘にて留め付けます。
- シーリングは専用シーリングと専用プライマーを用い、モエンパネルの表面まで充填します。

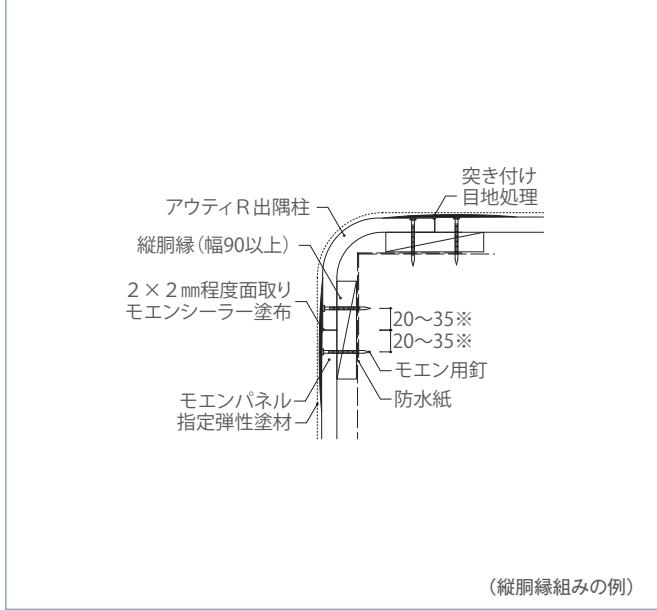


(縦胴縁組みの例)

④出隅部(アウティR出隅柱仕様)※PREMOシリーズには使用出来ません

- モエンパネル端部に2×2mm程度の面取りを施し、モエンシーラーを塗布します。
- アウティR出隅柱は、先孔をあけて施工します。
- モエンパネルは、アウティR出隅柱に突き付けて施工します。
- モエンパネル及びアウティR出隅柱は、モエン用釘にて留め付けます。

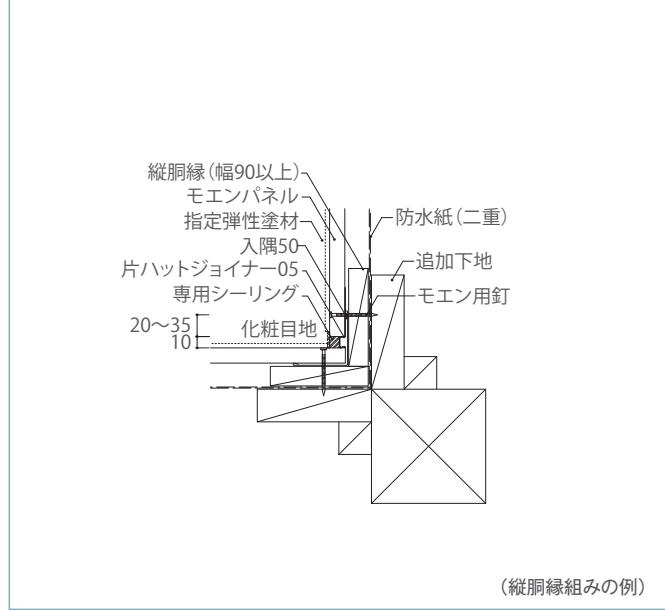
※胴縁の端あきが10mm以上となるように釘打ちします。



(縦胴縁組みの例)

⑤入隅部

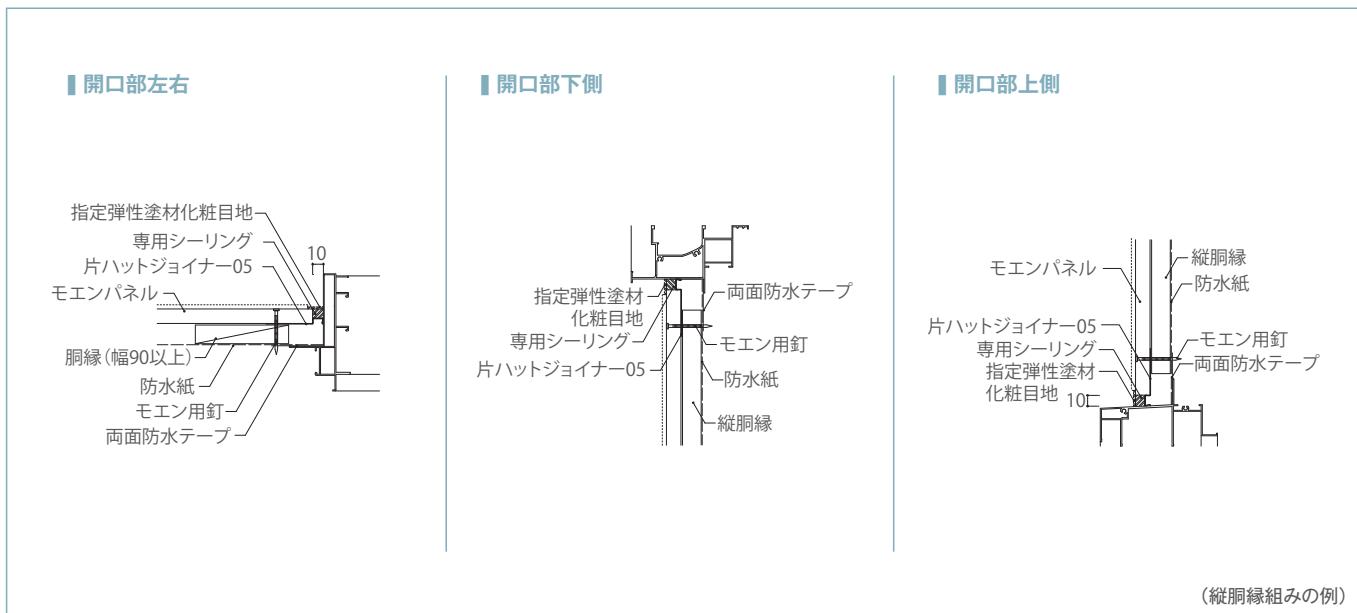
- 縦胴縁の留付下地として必ず追加下地を入れます。
- 入隅50、片ハットジョイナー-05を使用し、目立たない面にシーリング目地を設けます。
- モエンパネルの合じやくりは切断します。
- モエンパネルは、モエン用釘で留め付けます。



(縦胴縁組みの例)

⑥開口部

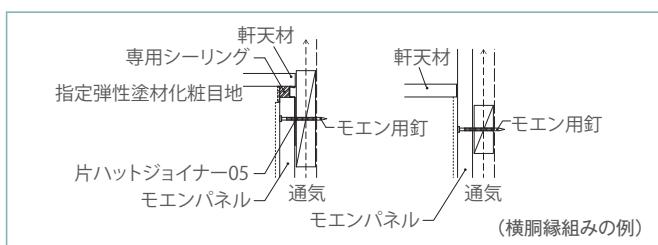
- 開口部回りには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- サッシとの取合い部は、片ハットジョイナー05を用いて10mm程度の隙間を設けます。
- モエンパネルはモエン用釘で留め付けます。 ● マスキングテープで養生後、専用プライマーを塗布し、専用シーリングを充填します。
- シーリング目地部は化粧目地仕上げとします。



軒天部

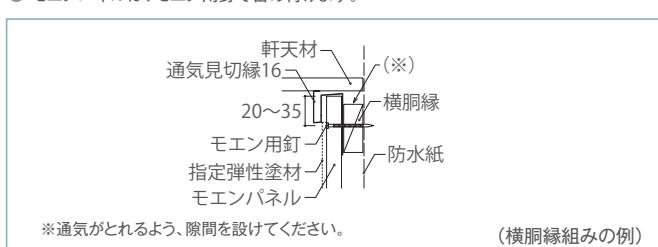
小屋裏へ通気する場合

- 通気が小屋裏に抜けるように防水紙張りと木胴縁下地組みは、軒天施工前に先行して行います。
- モエンパネルはモエン用釘で留め付けます。
- シーリング目地部は、化粧目地仕上げとします。



通気見切縁を使用する場合

- モエンパネルの施工前に、通気見切縁16などを取り付けます。
- モエンパネルは、モエン用釘で留め付けます。



オーバーハンジ部

- 防水紙がオーバーハンジ水切または垂れ壁通気部材の上部にかぶせます。
- 縦胴縁組みの場合、両面防水テープを用い、防水紙を貼り付けます。
- モエン下端とオーバーハンジ水切の間は、10mm程度の隙間を設けます。
- モエンパネルは、モエン用釘で留め付けます。

